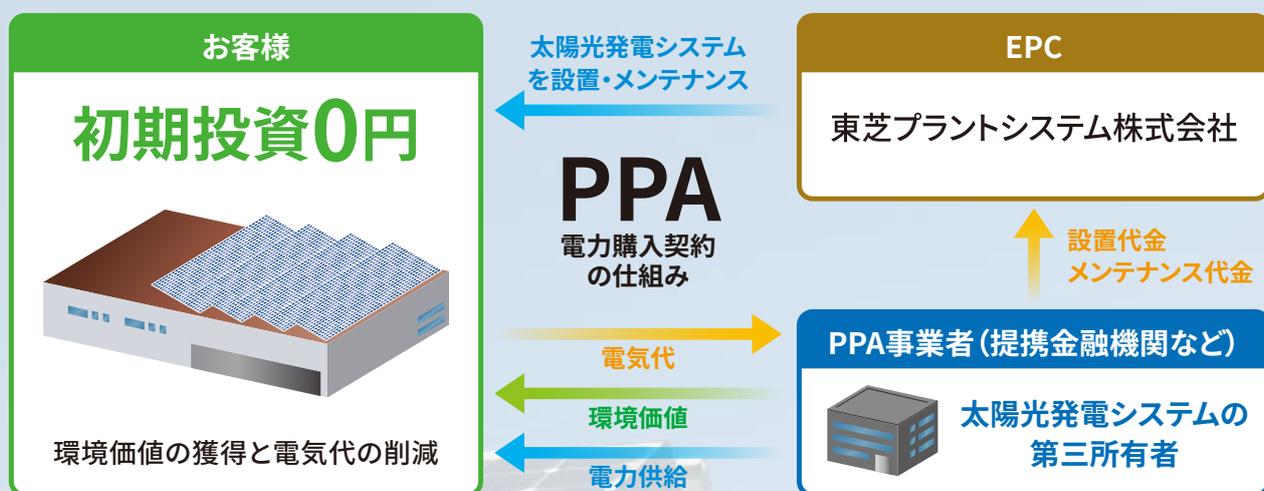


自家消費太陽光発電設備

初期投資0円のPPAモデルをご提案します

PPAモデルのメリット

- ・電気代の上昇リスクを抑制できる
- ・CO₂の排出量を削減できる
- ・再エネ由来の電気を調達できる



PPA (Power Purchase Agreement) モデルとは、無償設置・第三者保有モデルとも呼ばれており、お客様の屋根上や遊休地に太陽光発電設備を設置しますが、設備は保有せずに、使用した電気代をPPA事業者を支払うものです。設備の設置・保有・保守はPPA事業者が行います。



屋根置き太陽光発電設備

自家消費太陽光発電導入方法の比較

仕組み	メリット	デメリット
PPA	<ul style="list-style-type: none"> ・初期投資ゼロで導入できる ・発電した電力だけを購入できる ・資産計上されない* 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期契約となる
リース	<ul style="list-style-type: none"> ・設備費を分割支払いできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定のリース料が発生する ・資産計上される
設備保有	<ul style="list-style-type: none"> ・投資対効果が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期投資が発生する ・維持管理が自社の責任となる

※PPAモデルによる資産計上(オフバランス化)は、お客様の監査法人への確認が必要です。

PPA試算 1.3MW屋根置き自家消費太陽光発電設備提案例(現状との比較)

仕組み	電気代	電気代削減 (初年度)	CO ₂ 排出削減 (初年度)	森林面積 換算効果
現状	16.0円/kWh	—	—	—
PPA	13.7円/kWh	303万円/年	599t/年	68ha/年

- 【試算条件】
- 設置場所：関東
 - 現状電気代：旧一般電気事業者の産業・業務用電気料金平均単価
(出展:再生可能エネルギーの主力電源化に向けた課題と展望
経済産業省 資源エネルギー庁 新エネルギー課 2018年9月28日)
 - PPA電気代：当社試算
 - 発電量：1,317,368kWh/初年度
 - CO₂排出係数：0.455kg-CO₂/kWh
(出展:東京電力エナジーパートナー「2018年度のCO₂排出係数について」)
 - 森林のCO₂吸収量：スギ(40年生)8.8t-CO₂